

令和7年度 第3回長野市公共施設適正化検討委員会 議事概要	
開催日時	令和8年2月17日(火) 9:30~11:10
場 所	長野市役所第一庁舎 庁議室
出席者	[委 員] 井原委員長、羽藤副委員長、青木委員、伊藤委員、久米委員、酒井委員、鈴木委員、高池委員、宮下委員 [事務局(公民連携推進局)] 返町総務部長、柳澤局長、長谷川課長、市村課長、池田係長、植田係長、白澤係長、長谷部主査、佐藤主査
議 事	(1) 公共施設個別施設計画(建築物)前期の実施状況と今後の取扱いについて (2) 長野市公共施設等総合管理計画について

【次 第】

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 事

【審議事項】

- (1) 公共施設個別施設計画(建築物)前期の実施状況と今後の取扱いについて
- (2) 長野市公共施設等総合管理計画について

- 4 閉 会

【開 会】

委員長あいさつ

〔井原委員長〕

議 事

- (1) 公共施設個別施設計画(建築物)前期の実施状況と今後の取扱いについて

〔資料について長谷川課長から説明〕

委 員 転用して公共施設として別用途で使用する場合、通常の維持管理コストは発生するが、長寿命化や改築のための改修コストはかけない方針という解釈で良いか。

事 務 局 転用する場合は、居抜きでそのまま使うなど、改修コストもできるだけかけないで運営することとして整理している。

委 員 前期 136 施設のうち 74 施設が完了しているのは、かなり進んでいると思うが、建物の対策ごとにコストのかかり方が違うため、コスト削減を指標として進捗状況を示すことはできるか

- 事務局 進捗状況について、コストで示すのはなかなか難しい。
- 委員 利用者は少ないが無くなっては困る中山間地の施設こそ、市としてお金をかけなければいけないと思う。費用対効果だけの判断ではなく「この施設は穏やかにでも維持する」というような指標もあればよいと思う。
- 事務局 対策は施設所管課と協議の上、決めているものであるが、今後、コロナ禍後の状況等を見極め、改めて施設の方向性等を見直す際の参考としたい。
- 委員 中山間地の公共施設をどれくらい残すのか、難しい判断であり、市の考え方と住民の思いが離れてしまえば、実行することは難しい。
特に学校は、地域住民にとって重要であるが、少人数で学ぶことが適切なのか難しい問題である。
- 委員 住民理解に向けた取組について、市の情報をホームページに掲載しても、なかなか見ないが、現状は特に年配の方は回覧板を見ていると感じるので、情報発信も工夫が必要。また、地域ごとにその地域の施設情報を周知することも良いかと思う。
- 事務局 紙媒体ではニュースレターを各公民館や支所に配布しているが、より市民に見ていただけるような工夫も必要だと考えている。
- 委員 市民一人当たりの延床面積について、全国平均を上回っている理由は何かあるのか。また、県内 19 市との比較データはあるのか。また、解体・民間譲渡は住民理解が必要とあるが、どのような手法を取っているか。
- 事務局 施設の総量が多い原因は、市域の広さに加え、オリンピックと平成の 2 度の合併。県内 19 市との比較はしてない。住民理解を深めるため、まずは利用率の詳細な情報等を把握し、現状を公開していく必要があると考えている。
- 委員 行政から情報を発信していてもなかなか見てもらえない場合もある。ニュースレターはしっかり作成していると思ったが、障害がある方や高齢者も読みやすいように、かみ砕いた言葉に言い換えることも必要だと思う。
- 委員 集約化・複合化が完了した施設について、住民からどのような意見があったのか教えてほしい。また、中山間地などで集約化する場合、便利になるけど遠くなるとか、どのような意見があったか参考に聞きたい。
- 事務局 前回視察した南部勤労者活躍支援センターは集約化した施設であるが、建物はきれいで使いやすくなったため、評判は良いと聞いている。
中山間地の集約化については、足が遠のくことはあると思うがワンストップになるメリットはあり、現状としては一長一短というところである。
- 委員 集約化などの計画を進める際に、地域住民などから意見を求められた場合、市はどのような対応をしているか。
- 事務局 現状では、市側が説明会などを開催し、意見をお聞きしている。今後も市民の皆さんと意見交換をしながら、理解を深めていくことが必要と考えている。

委員長 審議事項1については、概ね提案どおりでいきたい。

(2) 長野市公共施設等総合管理計画について

〔資料について長谷川課長から説明〕

委員 道路やトンネル、公園なども公共施設の一部であるが、議事2は建築物に特化した話し合いということでよいか。

事務局 計画の中心は建築物であるが、インフラも含めた計画であり、次期計画にもインフラ関係を含めて策定する予定である。

委員長 総合管理計画の縮減目標は建築物の床面積で設定しているということで良いか。

事務局 そのとおりである。

委員 1367施設のうちインフラ施設が100程度除かれて、1274施設となる認識で良いか。また、インフラ施設はどのようなものがあるのか。

事務局 そのとおりである。個別施設計画ではインフラ施設を除く1274施設のうち、小規模施設を除く901施設で対策を定めている。
インフラ施設は排水機場や公園のあづまやなどがある。

委員 縮減目標について、施設を減らす方に重点が置かれている印象を受けてしまうが、学校などは縮めるという視点で、規模を小さくして残す考え方もあると思う。

委員長 縮減目標は学校など各施設群を一律20%縮減するということではなく、公共施設全体で20%削減するという理解で良いか。

事務局 そのとおりである。

委員長 コスト縮減と言いながら目標自体は面積縮減となっている。他の自治体はどのように目標を設定しているか。

事務局 中核市の調査では面積縮減を目標にしている自治体が多く、中には数値目標を定めていないところもある。

委員 スライド10の考慮すべき点として、市民への情報提供や地域の合意形成は、施設のあり方を検討する際に大変重要だと思う。総合管理計画にどのような形で記載するか意識してほしい。

また、施設のあり方について長野市として地域をどうしたいのか。総合計画との整合性や考え方などを考えていくことも必要である。

委員 総合管理計画の4つの基本方針は大きく変更しないとしても、運用として変えていくためには、情報発信や住民に理解してもらうことで状況が変わるのではないかと思う。
また、床面積で考えたときに36%と大きな比率を持つ学校は避けては通れないと思

う。小学校の体育館は、社会体育館などと運用を統一することも必要ではないかと思う。計画を変えずに運用を変えらるとは、そのような部分ではないか。

また、行政の場合、どうしても公平性の視点が必要になってしまうが、子どもや老人、中山間地に手厚いとか部分的には傾斜配分も必要だと思う。

委員長 運用面はまだ検討の余地があるのではないかと。特に基本方針の「効果的・効率的な管理運用と資産活用について」この部分をどうしていくか。

委員 新型コロナや物価高騰などに加え、長野市は令和元年東日本台風災害についても忘れてはならない。ハザードマップを見ると危険な箇所も多く、防災面からも公共施設は重要であり考慮すべきである。

委員 床面積を具体的に減らすためには、市民の理解が必要である。そのためには、学校など、運用面の具体的な策を載せるべきではないかを感じる。総合管理計画に具体的な目標は書けるのか。

委員長 具体的な目標を記すのは基本方針なので、少し難しいかもしれないが、住民への理解については、もう少し厚く明記するのは有りかもしれない。

委員 閉校した清野小学校は今後どうなるのか。

事務局 閉校施設については、庁内で利活用について検討する体制を整えているところであり、関係部局と協議をしながら、利活用の可能性を検討していきたい。

委員 今後の委員会について進め方を教えてほしい。どのような議論を進めていくのか。

事務局 総合管理計画が令和8年度末で終了するため、令和9年度に向けて総合管理計画の改訂を目指したい。その中で大きな方向性については変更せずに、個別の基本方針をアップデートし、施設分類別の管理に関する基本的な方針も議論していただきたい。最終的には一つの計画としてまとめたい。

委員 計画を作ることに重点を置きすぎると実行面が難しくなる場合がある。

委員 改訂について方針はこのままで良いと思うが、運用面についてももう少し具体的な内容が加えられると、床面積を減らす上で有効な手立てになるのではないかと。

事務局 議論を進める中で、個別施設計画に反映した方が良いもの、総合管理計画には載せないが市が配慮しなければならないもの、総合管理計画に直接反映していくもの、という形で整理したい。最終的な計画案は事務局で作成し、それをベースに議論していただく形にしてもよいと思う。

委員長 まとめとして基本的な考え方は良いが、運用面は検討の余地があるということでまとめたい。また住民の理解については、スライド10に加えても良いかと思った。スライド11については異論がないと考える。

委員 改訂の方向性は良いかと思う。少し違う話になるが人口減少が与えるインパクトは行政にとって大変大きい。その中で縮減の方向性だけ議論していると思われがちだが、子どもたちの教育の質を考えることも重要。学校の在り方は縮減ありきではなく、いかに子

どもたちにどのような教育を残すのか、そのへんも大切。市営住宅についても人が減ればどのくらいの量が必要なのか考える必要がある。

事務局 次回は令和8年4月又は5月に予定している。

【閉 会】